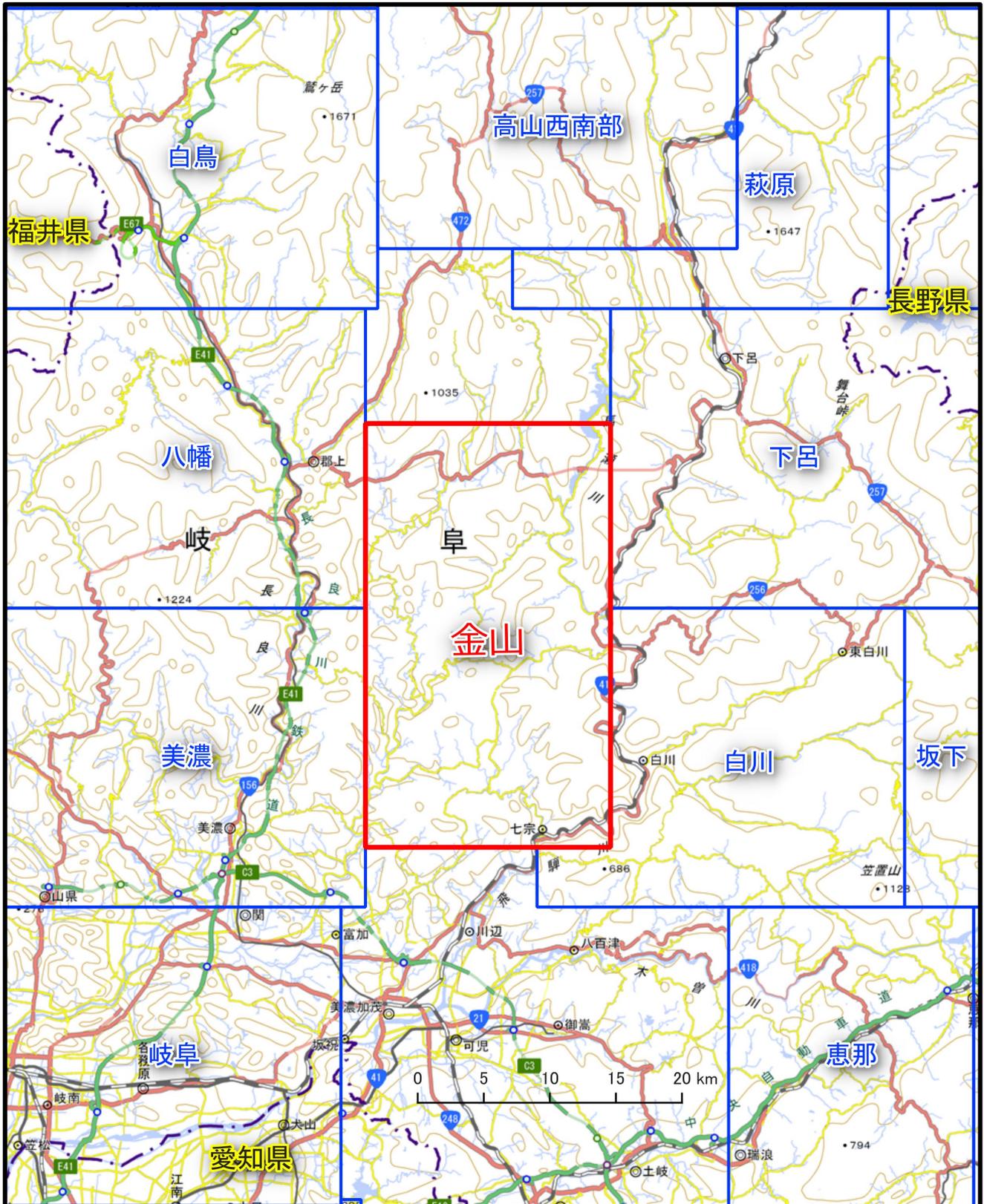


位置図

1:25,000 活断層図 阿寺断層帯及び長良川上流断層帯とその周辺 「金山」

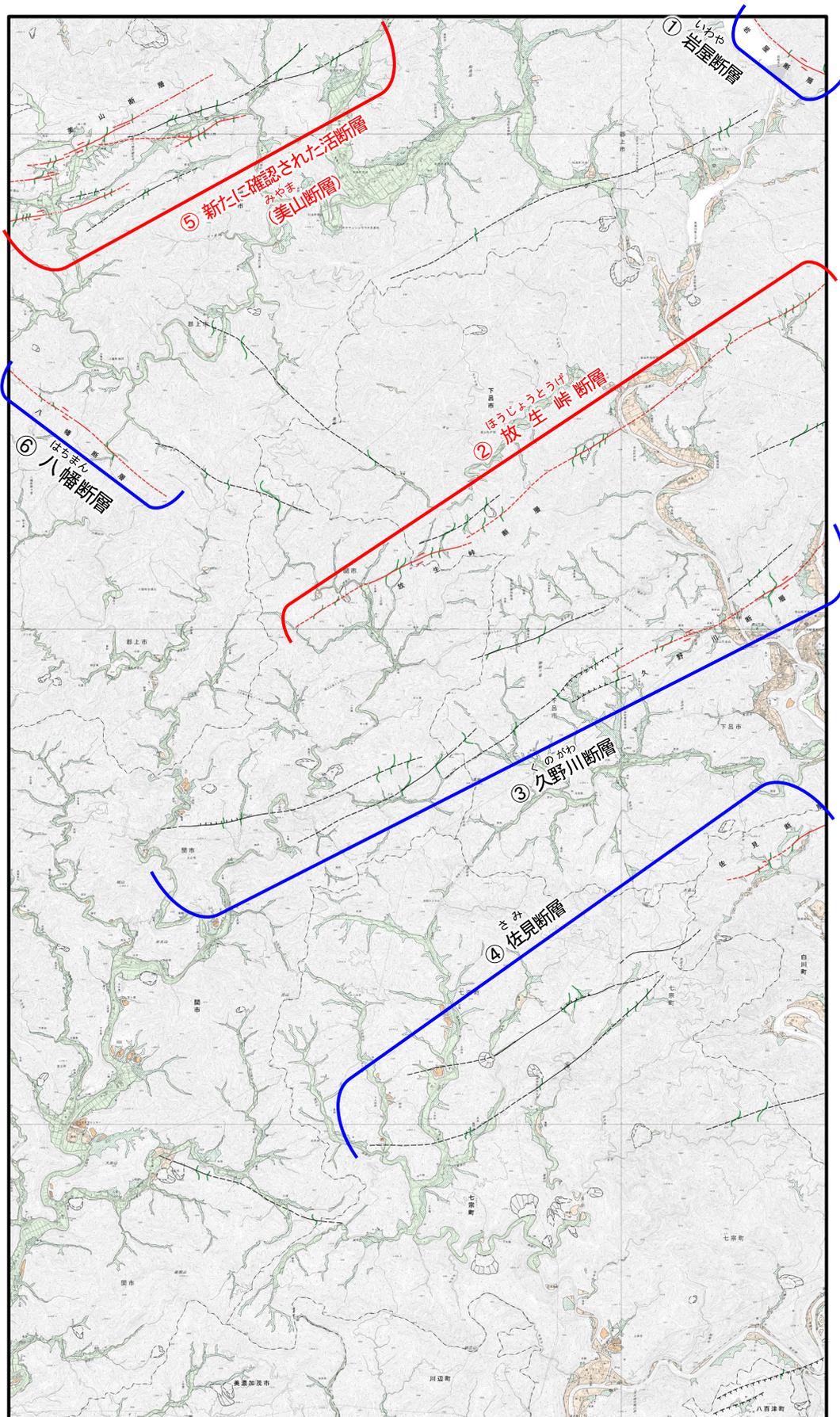


公開図郭

整備済図郭

概要

1. 1:25,000 活断層図 「金山」



2. 今回の調査で得られたこと

「^{かなやま}金山」の図には、^{いわや}岩屋断層約2km、新たに命名された活断層（^{ほうじょうとうげ}放生峠断層）約12km、^{くのがわ}久野川断層約13km、^{さみ}佐見断層約10km、新たに命名された活断層（^{みやま}美山断層）約7km、^{はちまん}八幡断層約4kmと、その他の推定活断層を表示しています。表示した活断層は、以下のとおりです。

番号	断層名	断層について
①	^{いわや} 岩屋断層	本図北東端に位置し、北西－南東方向に延びる、左横ずれ*変位を主体とする図内の長さ約2kmの活断層です。
②	^{ほうじょうとうげ} 放生峠断層	下呂市 ^{あそだに} 麻生谷付近（図郭東端）から関市 ^{いたに} 井谷付近まで、北東－南西方向に延びる、右横ずれ*変位を主体とする図内の長さ約12kmの活断層です。 <u>今回の調査で、従来知られていた位置よりも断層が南西方向にさらに約1.5km延び、新たに活断層として確認されたため、断層変位地形が特に明瞭な区間を通る峠の名称から放生峠断層と命名しました。</u>
③	^{くのがわ} 久野川断層	下呂市 ^{かなやまちょうしもはらまち} 金山町下原町の北（図郭東端）から関市 ^{なかがいつ} 中会津まで、北東－南西方向に延びる、図内の長さ約13kmの活断層です。 図郭東端から下呂市 ^{つきもと} 月本までは、右横ずれ変位を主体とする活断層区間となっており、その北側及び南西側に数条の推定活断層を含んでいます。
④	^{さみ} 佐見断層	白川町 ^{おがわ} 小川の北東（図郭東端）から七宗町 ^{かぶち} 神湊まで、北東－南西方向に延びる、長さ約10kmの活断層です。 図郭東端から白川町 ^{おがわ} 小川の西までは、右横ずれ変位を主体とする活断層区間となっており、その南西側に数条の推定活断層を含んでいます。
⑤	^{みやま} 美山断層	郡上市 ^{わらちょうみやしろ} 和良町宮代から同市美山（図郭西端）まで、北東－南西方向に延びる、図内の長さ約7kmの活断層で、西側に隣接する「八幡」の図の郡上市 ^{ほりこしとうげ} 堀越峠付近まで続いています。 右横ずれ変位を主体とする数条の活断層が雁行*しており、その北東側及び南側に推定活断層を含んでいます。 <u>主要部は今回の調査で新たに確認された活断層であり、断層主要部沿いの郡上市美山の地名から美山断層と命名しました。</u>
⑥	^{はちまん} 八幡断層	西側に隣接する「八幡」の図から連続し、本図においては郡上市 ^{かみすごう} 上洲河の西（図郭西端）から同市の ^{すぎさか} 杉坂の南まで、北西－南東方向に延びる、左横ずれ変位を主体とする図内の長さ約4kmの活断層です。

*印は、参考資料2の「7. 用語の説明」を参照